

二 技術普及部の調査研究課題 二

◎平成19年度課題一覧

課題名	予算	担当	課題名	予算	担当
〈担い手育成及び農業経営〉			①溶存酸素濃度向上による施設野菜の生産安定 (水耕ねぎ、土耕葉ねぎ)		
1 先進的農業者等への効果的指導方法の確立	県	調整	②いちご炭疽病対策に対応した安定育苗技術		
1) 各種カウンセリング・コンサルテーション手法の調査と実践			③環境制御技術によるトマトの生産安定		
2) 認定農業者の経営実態と課題の把握			④メロンの臭化メチル代替技術確立		
2 新規就農者の効果的指導手法の確立	県	調整	⑤トマト、いちごの島根版リアルタイム生育診断指標の作成		
1) 新規就農者の就農研修への対応方法			2) 新野菜「あすっこ」の栽培技術向上と生産拡大		
3 集落営農組織の効果的指導手法の確立	県	農産	〈果 樹〉		
1) 集落営農育成のための事例調査の実施			1 果樹の担い手育成と生産振興手法の確立	県	果樹
① 経営多角化等経営実態調査			1) ぶどうを核とした新たな果樹産地活性化対策の確立		
② 法人間連携事例調査			①ピオーネ等大粒ぶどうの栽培技術実証		
2) 集落営農育成のための指導資料等の作成			②ぶどうシャインマスカットの高品質・早期成園化技術の実証		
4 産地活性化のための効果的指導手法の確立	県	調整	③加温デラウェアにおける養液土耕栽培技術の実証		
1) 産地診断手法の確立			④プルーン・スモモの早期安定生産技術の実証		
① SWOT分析法による産地診断手法の実践			⑤島根ぶどう産地活性化方策の解明		
② 実需者ニーズの動向、解析による産地活性化手法の実践			2) 柿葉の省力多収栽培の実証		
〈農業環境〉			3) 西条柿における日持ち性向上技術の普及		
1 環境と調和した農業生産技術の向上	県	環境	4) 梨の栽培技術実証		
1) 地力窒素の簡易評価法を活用した水田地力窒素の測定と施肥改善による栽培実証			〈花 き〉		
2) 竹炭を活用した土づくり技術の有効性確認調査			1 花きの担い手育成と生産振興手法の確立	県	花き
3) 園芸作物における天敵や太陽熱消毒を活用したIPM(総合的病害管理技術)技術の推進			1) トルコギキョウ新技術による秋出し栽培と県オリジナル品種栽培技術の定着		
〈加工・流通〉			2) キク「新神」「神馬2号」他と「露地ギク」の新しい体系的生産技術の確立、普及		
1 新しい加工品の開発と産地消費体制の確立	県	環境	3) シクラメンの生産性向上とアジサイの生産拡大		
1) あんぽ柿の品質安定技術の確立			〈特 作〉		
2) 加工組織の経営支援方策の確立			1 特作の担い手育成と生産振興手法の確立	県	果樹
〈農 産〉			1) 茶園の土壌管理に関する調査検討		
1 農産の担い手育成と生産振興手法の確立	県	農産	2) てん茶栽培管理技術の実証		
1) 「きぬむすめ」の普及定着促進と「コシヒカリ」の品質向上技術の確立			〈畜 産〉		
2) 大豆密条播無培土栽培の普及性検討			1 畜産の担い手育成と生産振興手法の確立	県	畜産
3) 島根の顔となるソバ品種の現地検討			1) 乳用牛の産乳性向上(乳質改善)対策の検討		
4) 環境を守る米づくりの推進			2) しまね和牛去勢牛の肥育技術向上対策の検討		
〈野 菜〉			3) 耕畜連携による地域資源の有効利用技術とシステムの構築		
1 野菜の担い手育成と生産振興手法の確立	県	野菜			
1) 施設野菜の収量・品質低下要因の調査・現地実証及び新たな生育診断手法の確立					

注) 調整：普及調整G、環境：農業環境G、農産：農産技術普及G、野菜：野菜技術普及G、果樹：果樹技術普及G、花き：花き技術普及G、畜産：畜産技術普及G

二 試験研究各部の研究課題 二

◎平成19年度 新規課題の概要

課題名	予算	期間	担当	概要
1 斐川町モデルの構築による資源循環型高級植物油生産システムの実証	受	19~21	作物	作型と播種方法、雑草抑制の体系化等を検討し、水田における大麦、ヒマワリ年2作体系を確立します。
2 エゴマの栽培技術の確立と機能性の検証	受	19~21	野菜	鮮度や安全性、機能性を重視したエゴマの栽培技術を確立し、島根ブランド産品として育成・強化を図ります。
3 ブドウ園の葉面積と日射モニタリングかん水制御技術の開発	国	19~21	果樹	「デラウェア」の6~7月に成熟期を迎える作型での裂果軽減のための樹体および果房管理法やハウス内環境調整技術を確立します。
4 新野菜「あすっこ」の選抜固定と栽培条件の検討	県	19~21	特開	「おいしさ」志向に対応した栽培技術の確立ならびに個体間差の少ない品種育成を図ります。
5 ソバの新品種育成	県	19~23	特開 作物	超多収性、耐等伏性、耐湿性に優れ、高加工適正を持つ島根オリジナル品種の育成に取り組みます。
6 農外企業参入における参入条件と支援方策の解明	県	19~21	企画	企業参入を円滑に進めるため、企業が農業へ参入する際の課題やメリットを、企業サイド及び地域経済双方から明らかにします。

◎ 研究課題一覧

課題名	予算	期間	担当	課題名	予算	期間	担当
〈戦略的研究課題〉				〈病虫害〉			
1 ブドウを核とした新たな果樹複合経営の技術開発と普及	県	19~24	果樹・野菜他	1 水稻の有機栽培・減農薬栽培における病害防除対策試験	県	16~19	病虫
〈水 稲〉				2 有機農産物生産に対応したそば害虫防除対策の確立	県	18~19	病虫
1 水稻新品種育成試験	県	S46~	作物・特開	3 ブドウ栽培における省力的減化学農薬防除技術の確立事業	国	17~19	病虫
2 水稻奨励品種決定調査	県	S28~	作物	4 ダブルフェロモンと多機能型トラップによるカキ害虫 I PMの確立	国	18~20	病虫
3 水稻原種・原々種採種事業	県	S28~	作物	5 環境に配慮したワサビにおける総合的作物管理 (ICM) システムの確立	国	18~20	病虫
4 水稻作況試験	県	S61~	作物	6 営農管理的アプローチによる鳥獣害防止技術の開発	国	19~21	病虫
5 高温登熟条件下における良食味・高品質米の安定生産	県	15~19	作物	7 病虫害診断事業	県	12~	病虫
6 コシヒカリの疎植栽培における省力施肥法	受	19	作物	8 新農薬実用化試験	受	S31~	病虫
7 水稻直播栽培におけるワンショット型肥料及び水田除草機による省力低コスト減農薬栽培技術	受	19	作物	〈発生予察〉			
〈畑 作〉				1 病虫害発生予察事業			
1 麦類奨励品種決定調査	県	S28~	作物	1) 指定病虫害発生予察事業	国	S16~	病虫
2 大豆奨励品種決定調査	県	S52~	作物	2) 重要病虫害発生予察事業	国	S16~	病虫
3 大豆原種・原々種採種事業	県	S55~	作物	3) 病虫害の診断及び生態調査	国	8~	病虫
4 斐川町モデルの構築による資源循環型高級植物油生産システムの実証	受	19~21	作物	4) ミバエ類侵入警戒調査事業	国	S58~	病虫
〈野 菜〉				〈土壌肥料〉			
1 イチゴの未分化苗定植による省力育苗技術の確立	県	18~20	野菜	1 竹炭によるトマトの環境保全型栽培技術の確立	県	18~20	土環
2 野菜の品種比較	県	S23~	野菜	2 家畜ふん堆肥利用促進システムの確立 (しまね農業耕畜連携推進事業)	県	18~20	土環
3 エゴマの栽培技術の確立と機能性の検証	受	19~21	野菜・加工	3 農地開発地区・ほ場整備地区土壌調査	県	S52~	土環
〈果 樹〉				4 理化学分析事業 (依頼分析事業)	県	M41~	土環
1 ブドウ園の葉面積と日射モニタリングかん水制御技術の開発	国	19~21	果樹	5 地力増進地域の改善状況調査	国	13~	土環
2 ハウス内環境調節によるブドウ‘デラウェア’の裂果軽減技術の確立	県	17~19	果樹	6 土壌環境負荷低減対策推進事業に係るモニタリング調査	国	11~	土環
3 産地化を目指したブドウ新品種高品質安定生産技術の確立	県	16~22	果樹	〈環境保全〉			
4 加温栽培‘デラウェア’における効率的な休眠覚醒および生育適温以下で生育促進する台木品種の検討	県	18~22	果樹	1 土壌有害物質のリスク管理の推進	国	18~20	土環
5 高糖度で着色しやすい赤色大粒系ブドウの育種	県	18~22	果樹・特開	2 農薬残留確認調査事業 (農薬残留特殊調査)	国	S48~	土環
6 プルーン、スモモの結実安定・品質向上技術の確立	県	19~23	果樹	3 休廃止鉱山対策事業 (土壌汚染対策事業)	国	S46~	土環
7 省エネ低コスト技術の開発	県	19~24	果樹・野菜	4 酸性雨モニタリング (土壌・植生) 調査	国	S63~	土環
8 遠隔地環境制御による危機回避技術の開発	県	19~22	果樹・野菜	5 農薬ドリフト防止対策試験	国	19	土環
9 カキ‘西条’の多収穫・高糖度生産技術の確立	県	19~21	果樹	6 水田農薬河川モニタリング調査	受	18~20	土環
10 ナシ‘幸水’の高生産樹誘導による省力・安定生産技術の確立	県	17~21	果樹	〈特産開発〉			
11 果樹品種比較	県	S52~	果樹	1 ソバの新品種育成	県	19~23	特開・作物
〈茶 業〉				2 黄皮白肉系メロン新品種の育成	県	17~19	特開
1 緑茶用品種比較試験	県	S52~	果樹	3 イチゴのオリジナル品種の育成	県	17~19	特開
〈花 き〉				4 ボタンの新品種育成と増殖法の開発	県	15~19	特開
1 鉢内環境改善によるシクラメンの高品質栽培技術の確立	県	18~20	花き・土環	5 トルコギキョウのオリジナル品種の育成配布およびキク等の系統保存	県	12~19	特開
2 新規導入花きの安定生産技術の確立	県	9~	花き	6 アジサイ新品種の育成	県	19~21	特開
3 花きの実証試験	県	18~	花き	7 新野菜‘あすっこ’の選抜固定と栽培条件の検討	県	19~21	特開
4 輸出に対応した地域特産切り花の流通技術の開発	国	19~21	花き	8 遺伝資源の保存と特性調査	県	15~19	特開
〈加工〉				〈情報〉			
				1 ホームページ等を利用した研究情報発信	県	5~	企画
				〈経営〉			
				1 果樹・特産作物の生産費ならびに経営調査	県	S56~	企画
				2 農外企業参入における成立条件と支援方策の解明	県	19~24	企画
				〈共通〉			
				1 除草剤・生長調節剤試験	受	S32~	作物・野菜・果樹・花き

注) 課題名欄の青字は農林水産研究高度化事業、緑字は戦略的研究課題。予算欄の「国」は国庫補助、「県」は県費、「受」は受託試験。企画：企画調整S、作物：作物G、野菜：野菜G、果樹：果樹G、花き：花きG、病虫：病虫G、土環：土壌環境G、特開：特産開発G、加工：加工G 期間欄の元号のないものは平成。